



16 平和と公正を
すべての人に



誰も傷つけない笑い ～「ぺこば」の衝撃！～

校長 奥村 勇

「時を戻そう！」「悪くないだろ！」の決めセリフでブレイクした漫才コンビ「ぺこば」。彼らを初めて目の当たりした時の衝撃は今でも忘れません。松陰寺太勇さんの「相手を否定しない型破りなツッコミ」はとにかく斬新でした。毒舌やからかいなどの笑いとは無縁のエンターティナーがそこにはありました。

「誰も傷つけない笑い」。そんなキーワードがにわかに注目されたのは、2019年の「M-1グランプリ」がきっかけとされています。決勝に進出し、第3位となったぺこばの「ボケを否定せず肯定的に受け止めるツッコミ」に私と同じく好感を抱いた視聴者が少なからずいたようです。今思えば、時代の転換点を目撃したのかも知れません。

同じ潮流に位置づけられるのが、その時の優勝者である「ミルクボーイ」。「オカン」が忘れたものの名前（コーンフレークは大バズリ！）を思い出そうする人気ネタで大ブレイクを果たしました。彼らは言います。「ただ否定するだけでは面白くないし人を傷つける。誰に怒っていいか分からないものこそネタになる」。

吉本興業が携わる子ども向けのお笑い講座には、「ツッコミのぜったいルール」なるものが存在します。

- （１）人が傷つくことを言うてはいけない
- （２）周りが明るくなる
- （３）周りがおもしろくなる

小学生の頃、お楽しみ会で、友達と一緒に「お笑い劇」（大概是、昔話を元ネタとしたもの）を創作して披露していました。今思い返すと、否定的な内容もそれなりに含まれていたような。時を戻せたら！

「ツッコミのぜったいルール」を体現して、「間違いはふるさとだ。だれにでもある」「個性は背筋だ。伸ばしていこう」と、ぺこばのような「神ツッコミ」が世の中に浸透すれば、幸せな空間が増えることでしょう。

巷には様々な「笑い」が溢れていますが、多様性をどこまでも尊重する「誰も傷つけない笑い」には、人間関係をより良いものとするヒントがたくさん隠されているように思います。

世界が「誰も傷つけない笑い」に満ち満ちたら・・・。

「笑い」には、きっと世界を変える力があります。